

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名 グループホームカトレア

日 付 平成16年12月14日

評価機関名 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

評価調査員 介護支援専門員歴 3年
病院での相談援助業務歴 30年、家族介護歴 13年

自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)

事業者のコメントを見る
(評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！)

外部評価の結果

概評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

・バス停からすぐ近いところにホームは建っており、商店も近くにあり。住宅街の中に有るマンション風の建物で、普通の生活の延長を感じます。

・ホームは二階にありますが、エレベーターは、使いやすいところに設置されており、ホーム内も、緑の木や季節感のある花も多くおかれ、テーブルやくつろぎスペースが使いやすく設置されています。

・半数の人が設立当初より入居して「ここが一番良い」と語っています。入居者同志の会話も多く見られ、ゆっくりに落ちついた雰囲気があります。

・入居者の表情やしぐさが、入居時より良くなり、穏やかに生活されています。このことは、職員が入居者を思う支援の成果の現われであると感じます。

・職員から家族への働きかけも多く、家族の面会が多くあります。家族の面会は24時間対応されており、昼間の玄関ドアは施錠されていません。

・地域との交流にも努力を重ね、昨年度より町内会に加入し、行事の案内が有り参加しています。

・職員と事業主の意見交換も積極的に行われており、職員の要望で、量のくつろぎスペースを確保するなど、入居者の持てる力を生かせる場として活用できるようになっています。また、食べ物を大切に、外注食品の搬入以外にも、家族からの差し入れがあった時は、追加したり、メニューをアレンジしたり、適宜食卓を豊かにしています。

・何よりも、努力していることは、グループホームの理念の実現化に向けて、ケアプラン、申し送り、カンファレンスもきめ細かく行われていることです。そして、理念の理想と実際のギャップに課題意識を持ち研修にも積極的です。年々、重度化していく入居者の尊厳を守り、個別の意思決定をどう実現化していくかについて、常に真剣に考えています。

特に改善の余地があると思われる点

多忙な毎日の中でも、慌ただしさを感じさせない、ゆったりと落ちついたケアサービスが行われていますが、幾つか気付いた点を述べてみます。

1. 食事中に流れているBGMのボリュームが、もう少し低い方が良いのではないのでしょうか。
2. きめ細かい資料作りがなされていますが、ラベリングなどして、整理していく方が活用しやすいのではないのでしょうか。
3. 外周りの活用として、洗濯物を干すコーナーの工夫が有れば良いのではないのでしょうか。
4. 各場所の収納スペースに工夫をしていけば、整理と空間活用につながるのではないのでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か			
<p>・小人数で家庭的な生活の中で、個別に、一人ひとりの満足を得られることをすべての面において優先し、入居者にとって「普通の生活」の回復を目指しています。</p> <p>・「高齢者自身の価値」を高める努力を行い、入居者の喜びが職員の喜びであるような仕組みを作ろうとしています。入居者と職員が、アミーユ(友達・家族)のように親密な関係を築き、信頼や笑顔の中での生活を目指しています。そのため、入居当初、厳しい顔を見せていた方も、入居後、穏やかな表情が見られるようになり、そのような時は、職員も一番やりがいを感じています。</p>			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か			
<p>一人ひとりの、これまでの生活の中から、今、できることに重点を置き、アセスメントしています。土いじりの好きな人、草引きの好きな人、書道の好きな人、新聞を読むことのできる人など、ホーム内だけでなく、外部に出たり、外部の人との交流を通じて、実践できればと考えています。</p> <p>居室に入る時は、必ず、同意を得ています。夜間の安否確認も、プライバシーを考え、眠りを妨げないように気配りをしています。トイレ利用の時も、必ずドアを開けて、排泄の支援をしています。</p>			

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か			
<p>入居者のペースを尊重することが一番大切と考えています。例えば、食事時間にしても、15分で終わる人もあれば、1時間かける人もあり、食後の過ごし方も、人さままで、自由を大切にしています。</p>			

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人できることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
<p>・入居者のペースに合わせて、ゆっくりに、ゆっくりにと過ごせるように努力し、まずは、入居者と職員の関係の安定を図るよう心がけています。</p> <p>・誤業や、転倒など起きた時には、スタッフ全員に再発防止に努める体制を作り、事故がないよう予防に努めています。</p> <p>・入浴時には、全身の観察を行い、異常の早期発見に努め、身体機能、そして、あらゆる機能面の低下がないようにケアサービスの検討を行っています。</p> <p>・重度化していく入居者の閉じこもりがちな生活の中、今後、公民活動や外部との交流を積極的にしていこうと検討中です。</p>			